

追悼セドリック・プライス、 あなたには多くのことを学びました。

「20世紀における最も影響的な英国建築家が亡くなった」とニューヨーク・タイムズが報じた。セドリック・プライスとはどんな人物なのか。彼の建築の意味を、そのパワフルな思想、作品、教育から捉える。

text_Takeo Muraji

建築家。1966年生まれ。東京都立大学大学院修了の後、建設会社勤務。91年にAAスクール留学、AA大学院建築学学位取得の後、同校にてC・プライス助手。96年に帰国。建築大建築研究室代表、明治大学兼任講師。



AAスクールで指導にあたるセドリック・プライス。1934年生まれ、ケンブリッジ大学、AAスクール卒業。60年に事務所設立。設計、執筆、教育などで多大な影響を与えた。2003年8月10日没。

え

つ、セドリック・プライスが死んだ。ダブリンからロンドンへのフライト中、隣席の友人が読む新聞（8月26日付、デーリー・エクスプレス紙）に「笑し終るために建てる」とが好まぬ建築家、セドリック・プライスとくるとあるという大きな見出しが見えた。彼の写真の横には最愛のパートナー、知己の女優エレナー・ブロンとの写真が添えられていた。

1934年、英国スタッフォードシャー生まれ。ケンブリッジ大学の後、AAスクールでアーサー・コーンに師事する。ロンドンでの事務所勤務の後、60年に自らの事務所を設立した。「ロンドン動物園の大鳥籠」や「ケンティッシュタウンのインターアクションセンター」など、当時の話題をさらう革新的な作品を残した。何より彼の功績は、60年代におけるニューブルーリズムやポストアートなどの思想が濃厚で、建築界に大きく影響を与

えたアンビエルのプロジェクトである。ひとつは、ジョアン・リトルウッドのファン・パレス（1961）である。鉄骨の大フレームを架け、この中で発生するさまざまな活動によって空間が自由に变化するというフレキシブルな計画で、当時支配的だった「空開すなわち機能」という考え方に對して一石を投じた衝撃的な案であった。またポッターリーズ・シンクベルト（1964）では、鉄道の路線を利用して、貨車を生涯教育のキャンパスと見立て、コミュニティによって運営、走るらるという、プログラムとシステムを含むパンチのある計画を立案し、建築の意味を押し広げた。

これらは、当時のアーキテクチャーの建築思想にも強く影響を与え、リチャード・ロジャースのポンペドゥー・セントアイヤロイズ・ビルにおける、中核のものが外に出るという「インサイドアウト」のコンセプトにもつながったとい

われている。つまり、彼の建築界への貢献は、常に批評的かつ先を見据えたビッドな建築思想である。これは、AAスクールを含むさまざまな建築教育の場での影響、ビルディングデザイン誌での連続コラムを通しての発信など計り知れないものがある。ガーディアン紙（8月15日付）は、「最も影響的な思想家が亡くなった」と伝え、ニューヨーク・タイムズ紙（8月16日付）は、「20世紀における最も影響的な英国建築家が亡くなった」と伝えた。

94年から95年にAAスクールにて彼の助手をしていた時のことを私は次々と思い出した。「学生ではなくメンバーと呼びなさい」という学生と同じ顔の高さで見るという姿勢、「私は美を信じない、コンセプトを信じるだけ」という思想を大切にする態度など、多くを学んだ。感謝したい。8月10日に心臓発作で死に、もう二度と会うことはできない。